

公的扶助論

[講義] 第2学年～第3学年 前期 選択 2単位

《担当者名》大友 芳恵 (非常勤講師)

【概要】

社会に内在する貧困・低所得をめぐる諸状況を構造的に捉えることができるように、視覚教材・事例等を用いて現代社会の多面的・複合的課題の理解を行う。さらに、それらへの政策対応や実践のあり方について考える。

【学修目標】

- 貧困状態にある人の置かれている諸状況について説明することができる。
- 貧困に対する法制度や関連制度について説明することができる。
- 貧困に対する支援における関係機関との連携や支援の実際について概説できる。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

【実務経験】

社会福祉士

【実務経験を活かした教育内容】

高齢者施設のソーシャルワーカーとして多くの生活困窮状態にある高齢者や家族への支援を行ってきた実務経験を活かし、生活保護制度の仕組みや低所得者への制度・施策、低所得状態にある人の生活実態などについて講義する。